北海道防衛局
Hokkaido Defense Bureau

北海道
防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/

駐屯地創立７０周年記念
行事における市中閲覧行進
（上富良野駐屯地提供）

「絆（きずな）」上富良野駐屯地と富良野市の紹介・・・・・ P２～３
沖縄県道１０４号線越え実弾射撃訓練の分散・実施・・・・・ P４
防衛政策講座　防衛力の抜本的強化について（第３回）・・・ P５
最適化事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P６
令和７年度　優秀工事等顕彰状授与式・・・・・・・・・・・ P７
若手職員研修　クリーンアップ活動・・・・・・・・・・・・ P８
幹部紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P９
専門学生を対象に現場説明会を開催　職員採用情報・・・・・ P10

北海道防衛局
ホームページ

北海道防衛局
公式Ｘ

2025
09
vol.95

「絆（きずな）」　上富良野駐屯地

陸上自衛隊　上富良野駐屯地の紹介

上富良野駐屯地創立７０周年
記念行事における観閲式

上富良野駐屯地から望む冬の十勝岳連峰

上富良野駐屯地は、北海道のほぼ中央部に位置し、道北防衛の要として重要な役割を担っており、昭和３０年９月に開庁されて以来、第２戦車連隊、第３地対艦ミサイル連隊、第１４施設群を基幹とする１９個部隊が駐屯し、国防と地域の安全に貢献しています。

富良野盆地に広がるこの地域は、四季折々の自然美に彩られ、夏のラベンダーや冬の雪景色など、四季彩豊かな環境に恵まれています。

駐屯地は「地域社会との共存共栄」をモットーに、災害協力や地域行事などの参加を通じて、地域社会との強い絆を築いています。

富良野市との関係性

上富良野駐屯地は富良野市と、長年にわたり深い信頼関係を築いてきました。特に上富良野町、中富良野町及び富良野市の３市町に所在する上富良野演習場において年間を通じて訓練し、冬季には、富良野市に所在する富良野スキー場において、自衛隊のスキー訓練を実施させていただいております。

また、夏の北海へそ祭りへの参加や、地域防災訓練の共同実施などを通じて、地域とのつながりを一層深めています。

駐屯地の隊区担任部隊である第３地対艦ミサイル連隊を中心に、富良野市と緊密な協力体制を築いており、市民の皆様も自衛隊の活動に理解を深め、温かい支援を寄せてくださっています。

富良野スキー場に
おけるスキー訓練

駐屯地正門

道北防衛の重要拠点としての地位を担う駐屯地として、歴代駐屯地司令要望事項「大同団結・和」「地域社会との共存共栄」を合言葉に日々訓練に励み、国防と地域の安全に寄与してまいりました。

四季折々の自然に囲まれたこの富良野地方で、今後も地域の皆様とともに歩んでまいります。

第２戦車連隊長兼ねて上富良野駐屯地司令　１等陸佐　鈴木　諭

「絆（きずな）」　富良野市

北　猛俊　富良野市長

自衛隊の皆様には、我が国の防衛や地域の安全確保、さらには、多発する自然災害に対する災害派遣活動などをはじめ、平素より富良野市行政のご理解並びに行事等への参加をいただいており、合わせて各種イベントに対する積極的なご支援・ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

今後も上富良野駐屯地司令の要望事項でもある「地域との共存・共栄」を合言葉に、自衛隊の皆様と連携を図りながら、安全・安心に暮らせるまち「健幸都市ふらの」のまちづくりをすすめてまいります。

「へそとスキーとワインのまち」　富良野市

富良野市は、北海道の中心に位置し、東に大雪山系十勝岳連峰、西には夕張山地芦別岳を望む富良野盆地の中心都市となっており、「へそとスキーとワインのまち」を掲げています。

毎年開催する夏の一大イベント“北海へそ祭り”は、富良野市が北海道の地理的中心（北海道のへそ）であることに因んだ祭りであり、お腹を顔に見立て絵を描き、頭を大きな笠で隠して踊る愉快なお祭りです。

市街地から程近い“富良野スキー場”は、世界的に見ても非常に優れた雪質を擁していると言われており、この盆地特有の雪質を「bonchi powder（ボンチパウダー）」と名付け、ブランド化の取り組みを進めています。

自然豊かな大地で育まれ５０年を超える歴史を持つ“ふらのワイン”は、地元富良野産のぶどうでワインを製造し続ける自治体ワイナリーです。

北海へそ祭り

富良野市と防衛省・自衛隊との関わり

陸上自衛隊上富良野駐屯地には、道北防衛の任務をはじめ、富良野市を含む富良野沿線地区の防衛警備、更には十勝岳火山噴火や風水害などの多様な各種自然災害に対応していただくべく、日頃から密接な連携を図らせていただいているところであり、市の防災訓練においても隊区担当部隊にご参加をいただき、その連携要領について確認をして、体制の強化に努めています。

また、駐屯地所在の隊員皆様には、当市で行われる「北海へそ祭り」への参加をはじめ、各種行事へのご支援、ご協力をいただいているほか、上富良野駐屯地創立記念行事には、駐屯地の一般開放により積極的に市民との交流を深めていただいているところです。

富良野市防災訓練

上富良野演習場周辺　農業用施設（玉葱収穫機）設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第８条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

この農業機械は、演習場からの砂塵等により農業経営に支障が生じているため、経営の安定に寄与するための施設として整備しました。

【補助事業の概要】

補助事業の内容：玉葱ピッカー１台　玉葱移植機２台
事　業　年　度：令和６年度
補助対象事業費：３１，３７９千円
補　　助　　額：２０，９１９千円（補助率　２／３）

玉葱ピッカー

玉葱移植機

沖縄県道１０４号線越え実弾射撃訓練の分散・実施

６月８日から６月１７日（６月１５日を除く。）までの間、米海兵隊は、矢臼別演習場において、沖縄県道１０４号線越え実弾射撃訓練を実施しました。

この訓練は、米海兵隊が沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて沖縄県道１０４号線を通行止めにして１５５ミリ榴弾砲の実弾射撃訓練を行っていたものを、平成８年１２月の沖縄に関する特別行動委員会（ＳＡＣＯ）最終報告により、平成９年度から沖縄県の負担軽減のために本土の５演習場（矢臼別、王城寺原、北富士、東富士及び日出生台の各自衛隊演習場）において分散・実施しているもので、矢臼別演習場での訓練は、今回で２３回目となります。

また、訓練を終えた米海兵隊は、６月２３日、地域貢献や交流活動の一環として別海町内（町民憩の森公園）でボランティア活動（ペンキ塗り）を行いました。

訓練公開

米軍との調整の様子

訓練説明会

ボランティア（ペンキ塗り）の様子

【北海道防衛局の対応】

北海道防衛局は、訓練部隊が到着した５月２９日から矢臼別演習場を離れた６月２８日までの間、同演習場内に「北海道防衛局現地対策本部」を設置し、地元自治体、関係機関への情報提供や米軍への物品・役務の調達支援など訓練の円滑な実施のための各種対応を行いました。

物品・役務の調達支援

防衛政策講座　防衛力の抜本的強化について
（第３回　無人アセット防衛能力の強化）

わが国の安全保障政策にかかる主要な文書である「国家安全保障戦略」などの「防衛３文書」において、防衛力の抜本的強化にあたり重視する７つの機能・能力が位置づけられています。前回はスタンド・オフ防衛能力の強化についてお伝えしましたが、今回は第３回として、無人アセット防衛能力の強化について紹介します。

無人アセット（装備品）は、有人の装備品と比べて、比較的安価であることが多く、また、危険な環境下や長時間連続で運用することができます。

さらに、ＡＩ（Artificial Intelligence）と組み合わせて運用することにより、無人アセットを、同時に、かつ、大量に運用できるほか、運用する要員の養成も容易であるといった特性があります。

こうした特性を踏まえ、これまで有人の装備品が担っていた業務の効率化や、無人アセットによって新たに可能となるオペレーションに無人アセットを活用することで、任務に従事する隊員の危険や負担をできる限り減らしつつ、陸上、水上、水中、空中において、非対称的な優勢を確保することができることから、無人アセットを幅広い任務に効果的に活用していくこととしています。

北海道内においては、北部方面隊の師団・旅団に所属する情報隊において、無人偵察機（スキャン・イーグル）を運用しており、情報収集の任務を担っています。（令和７年版防衛白書から引用）

スキャンイーグル訓練の様子
出典：第１１旅団公式Xより

令和７年版防衛白書が刊行されました。

今回ご紹介した「無人アセット防衛力強化」も含めた「防衛力の抜本的強化」の進捗について、変化事項やトピックス等を丁寧に記述するとともに、統合作戦司令部の新設や自衛官の処遇改善・勤務環境の改善など、防衛省・自衛隊の取組を紹介しています。

電子版も公開しておりますので、是非ご覧ください。

最適化事業について

令和７年度　最適化事業専門部会（第５回）について

北海道防衛局では、令和７年度の最適化事業として、陸上自衛隊旭川駐屯地の建物やライフラインなどの、再配置、集約化、老朽改修等を計画しています。

本事業の実施にあたり、学識経験者の方々で構成される技術提案・交渉方式専門部会委員による第５回専門部会が６月２７日、北海道防衛局（札幌市）において開催されました。

第５回専門部会（北海道防衛局）

今回開催された第５回専門部会において、「旭川（７）最適化総合設計に係る技術協力業務」の技術提案に係る審査結果について、契約相手方の選定手続きを中立的かつ公正な審査・評価に資するためのご意見等をいただきました。

当局としましては、これらの意見を踏まえつつ、引き続き、適切な入札及び契約手続きを行ってまいります。

施設整備関連（事業の紹介）

東千歳（５）宿舎新設建築工事

北海道防衛局では、最適化事業以外にも、道内の基地・駐屯地等において施設整備工事を行っています。今般完成した事業の一例を紹介します。

工事区域全景

東千歳駐屯地の近傍に鉄筋コンクリート造５階建て、建物面積約５,０００㎡の隊員用宿舎が６月に竣工しました。

本宿舎は、世帯用３９戸、独身用１５戸の全５４戸建、その他、オートロック、宅配ＢＯＸ、身障者用スロープ等を備え、安心で安全にも配慮した宿舎です。

また、現場は住宅密集地であることから、周辺環境に細心の注意を払い、着工から約３３ヶ月をかけての完成となりました。

正面玄関

宅配ＢＯＸ

スロープ

令和７年度　優秀工事等顕彰状授与式
～より優れた品質の防衛施設の整備に向けて～

令和７年７月、北海道防衛局及び帯広防衛支局は、令和７年度優秀工事等顕彰授与式を執り行いました。

優秀工事等の顕彰は、北海道防衛局及び帯広防衛支局が発注した建設工事等において技術・品質が優れ他の模範となるにふさわしい工事、業務及び技術者を顕彰することにより、入札参加者の意欲を高め、建設工事及び業務目的物の品質確保等を図る制度です。

北海道防衛局調達部長顕彰（工事）

帯広防衛支局長顕彰（工事）

北海道防衛局調達部長顕彰（業務）

帯広防衛支局長顕彰（業務）

令和６年度に完成した建設工事等から、北海道防衛局は２２者（内技術者顕彰１０名）、帯広防衛支局は９者（内技術者顕彰４名）の工事等を選定し、北海道防衛局調達部長、帯広防衛支局長からそれぞれ顕彰状を授与しました。

優秀工事等顕彰状授与式の詳細は北海道防衛局ホームページに掲載しています。

北海道防衛局は、引き続き、最適化事業を適正に進めてまいります。

その他、生活環境改善についての紹介は、防衛省ＨＰ（生活・勤務環境の改善について）に掲載しています。

防衛省ＨＰ

若手職員研修

８月２５日、採用後３年以内の若手職員を対象に、北海道補給処苗穂支処（陸上自衛隊苗穂分屯地）において研修を行いました。

集合写真

この研修は、採用後３年以内の若手職員に対して、駐屯地等の現地研修を通じて駐屯地等の歴史、任務、地域において果たす役割などを理解させることで、地方防衛局職員に求められる知識の向上を図ることを目的として行われました。

研修員は、北海道補給処苗穂支処の担当者から詳しく業務説明を受けるとともに、整備工場や補給倉庫などの施設見学や質疑応答の機会を通じ、隊員から現場ならではの苦労や業務の円滑な進め方などを確認し、積極的に研修に取り組みました。

研修員からは「防衛局の業務が部隊任務遂行に繋がっていることを認識することができた。」、「部隊の任務を理解した上で日頃の業務に当たることは、同じ防衛省という組織で勤務する姿勢として、大切なことだと感じた。」といった声が聞かれました。

今後も北海道防衛局は、このような研修を通じ、地域の皆様に貢献できる人材作りに積極的に取り組んでまいります。

熱心に説明を聞く研修生

施設の見学風景

整備業務の見学風景

クリーンアップ活動

６月１８日、令和７年度の環境省「環境月間」の取組の一環として、札幌市の「河川等クリーンアップ活動推進事業」に参加し、中島公園内の鴨々川周辺において清掃活動を行いました。

当日は、北海道防衛局長を筆頭に３２名の職員が集まり、クリーンアップ活動を行いました。

北海道防衛局は今後も地域の皆さまに寄り添いながら、環境美化活動に積極的に取り組んでまいります。

幹部紹介　～８月人事異動～

局長
掛水　雅俊

８月１日付で北海道防衛局長を拝命しました掛水です。北海道での勤務は、今回で約３年ぶり４度目となります。これまでの勤務で北海道の自然や人の温かさに触れ、深い愛着を感じております。この北海道で再び勤務できることを大変嬉しく思うとともに、北海道における防衛行政の拠点としての重要な役割を担う北海道防衛局の長として、身の引き締まる思いです。

北海道には、わが国最大の演習場である矢臼別演習場をはじめ、北部方面総監部、師団・旅団や千歳基地など、わが国の防衛力のみならず日米同盟や同志国などとの連携を支えるための重要な防衛施設が数多く所在しています。

防衛省・自衛隊の様々な活動は国民の皆様一人一人と地方公共団体のご理解・ご協力なくしては成り立ちません。わが国が戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面する中で、これら防衛施設が周辺地域の皆様や関係する地方公共団体の方々のご理解とご協力により、安定的かつ円滑に使用されていることに心より感謝申し上げるとともに、これからもより一層のご理解を得られるよう、職員と共に全力で取り組んでまいりますので、今後とも、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

次長
宮川　真一郎

８月１日付で北海道防衛局次長を拝命しました宮川です。私は北海道で生まれ育ち、北海道で採用されて以来、道内外での勤務を経験してまいりました。今回、再び北海道で勤務する機会をいただき、地元で防衛行政に携われることを大変光栄に感じております。

道内に多く所在する重要な防衛施設が安定的に使用できるのは、防衛行政及び自衛隊の活動に対する地域の皆様のご理解とご協力があってのことと認識しております。地域の皆様と防衛省・自衛隊との架け橋という当局の役割をしっかりと果たせるよう、誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

調達部長
石原　弘仁

８月１日付で調達部長を拝命しました石原です。平成２８、２９年度以来の札幌勤務で、懐かしくもありとても楽しみにしています。

わが国の安全保障の環境が変化する中、道内には重要な防衛施設が多数所在しており、施設の強靭化や最適化はわが国の安全保障上、必要不可欠なものです。

防衛施設の安定的な運用には地域の皆様のご理解とご協力が不可欠ですが、自衛隊施設の整備においても関係各所との信頼関係を更に発展させながら進めたいと考えておりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

専門学生を対象に現場説明会を開催

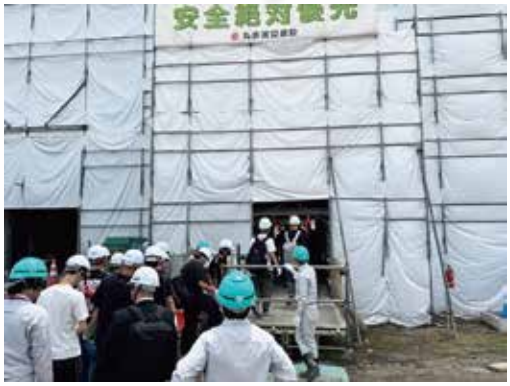
北海道防衛局は、６月２６日、国家公務員採用試験受験予定の学生を対象に現場説明会を実施しました。

この説明会は、将来、技術系職員を目指す学生に、実際の工事現場を見て体感してもらうことを目的に企画したもので、当日は、日本工学院北海道専門学生２６名に、現在工事中の東千歳駐屯地の宿舎、千歳基地を見学していただき、当局調達部の担当職員が、業務概要や施工のポイント・安全管理の取り組みなどについて説明しました。

参加した学生からは「業務のイメージがより具体的になった」、「現場の雰囲気を知ることができて勉強になった」などの意見をいただきました。

今後も、北海道防衛局職員採用に向けた情報発信や、現場での学びの機会づくりに取り組んでまいります。

～研修の様子～



令和７年度 職員採用情報

国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

◇事務
◆技術（電気・情報系、機械系、土木系、建築系）
◆農業土木　◆林業

令和７年度採用試験スケジュール

■ 国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験）

6/13～6/25	9/7	10/9	10/15～10/24	11/8	随時	採用面接後随時
申込期間	１次試験	１次試験合格発表	２次試験	最　終合格発表	採用面接	内　定

※申込期間は終了しています
１次試験以降、業務セミナー開催予定！

官庁訪問（２次試験期間中除く）

【お問合せ】　防衛省北海道防衛局 総務部総務課人事係
TEL 011-272-7590（採用専用）

地方防衛局（事務）採用パンフレット→

地方防衛局（技術）採用パンフレット→

北海道防衛局公式X→

北海道防衛局HP採用情報→